

令和2年度 保育士の自己評価(自己チェック)

今年度の自分自身の業務を振り返り、自己チェックを行いました。(対象:保育士・保育補助職員)
方式は、自己評価票への記入を採用しました。また、各チェック項目は『レインボー保育園職員マニュアル』等を基準としました。

(数字:%)

	項目	よくできた	できた	あまり できなかった	できなかった	回答無し
1	遅刻をしないように余裕をもって出勤する	55.2	31.0	13.8	0	0
2	(園児、保護者、職員等に対して)挨拶は笑顔で快く元気な声です	51.7	48.3	0	0	0
3	相手と向き合い目をきちんと見て挨拶する(子どもに対しては、相手の目線までおける)	31.0	69.0	0	0	0
4	言葉づかいは、やさしい言葉で対応する	31.0	65.5	3.5	0	0
5	子どもに対して、呼び捨てや傷つける言葉は絶対につかわない	62.1	34.5	3.5	0	0
6	保護者に対しても友達言葉はやめて、礼儀正しい言葉をつかう	34.5	58.6	3.5	0	3.5
7	職員間でも園内では先生同士ということをわきまえ、丁寧な言葉をつかう	31.0	65.5	3.5	0	0
8	清潔で活動しやすい服装・身だしなみで業務にあたる	79.3	20.7	0	0	0
9	爪は短く切り、マニキュアはしない	86.2	13.8	0	0	0
10	突起のある指輪やピアスなどのアクセサリはつけない	93.1	6.9	0	0	0
11	授乳時は時計もはずし、子どもを傷つけないように配慮する	62.1	10.3	0	0	27.6
12	髪の毛の長い人は、結ぶなりして子どもに当たらないようにする	75.9	17.2	0	0	6.9
13	保育中は私語を慎み、いつでも子どもに手が届くような体勢をとる	20.7	69.0	10.3	0	0
14	保育室を空にしないよう声をかけ合い、子どもだけにしない	72.4	24.1	0	0	3.5
15	職員同士、正しくないと思ったことは注意しあう	6.9	62.1	31.0	0	0
16	怒鳴ったり、けなしたりせず、相手の立場に立って、きちんと話す	38.0	55.2	3.5	0	3.5
17	室内外・廊下・階段等、ゴミをみつけたら拾い、棚の整理なども心掛ける	44.8	55.2	0	0	0
18	子どもに対して、感情的に頭ごなしに大声で怒鳴らない	48.3	44.8	6.9	0	0
19	子どもに対して、絶対に手はあげない	93.1	6.9	0	0	0
20	子どもに対して、危険をとまなうことや約束を破ることなどはきちんと向き合い叱る	51.7	44.8	0	0	3.5
21	だらだらと叱らず、簡潔に分かりやすく叱る	34.5	58.6	0	0	6.9
22	年間で計画したことを、子どものその時の発達に合わせて、見直しをもって行う	13.8	51.7	6.9	0	27.6
23	保育について、子どもを長時間待たせないように準備しておく	34.5	51.7	0	0	13.8
24	全職員が一貫性(お互いが気をつけること、目標とするもの)をもって保育する	10.3	79.3	0	0	10.3
25	保育中に起こった怪我や事故、子どもの体調変化は些細なことでも報告する	51.7	48.3	0	0	0

(数字:%)

	項目	よくできた	できた	あまり できなかった	できなかった	回答無し
26	子どもの人権に配慮するとともに、それぞれの違いを認め尊重している	38.0	58.6	0	0	3.5
27	子どもたちの中に人を信頼する気持ちが育つような関わりをしている	31.0	62.1	0	0	6.9
28	保育の主役はつねに子どもであることを心に留めている	44.8	51.7	3.5	0	0
29	自分の気持ちをうまく表現できない子どもの心情を汲み取ろうとしている	31.0	69.0	0	0	0
30	保育士自身が積極的に子どもと関わり遊んでいる	27.6	65.5	3.5	0	3.5
31	おもらし等をしたとき優しく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している	44.8	51.7	0	0	3.5
32	午睡などでは、子どもが安心して心地よく休めるよう配慮している	34.5	55.2	0	0	10.3
33	休息時間に、眠くない子どもへの配慮をしている	17.2	51.7	6.9	0	24.1
34	子どもの病気やアレルギーについて、確認・対応を行なっている	51.7	44.8	0	0	3.5
35	和やかな雰囲気の中で、子どもが楽しく食事に向き合えるよう配慮している	17.2	69.0	0	0	13.8
36	無理に急かしたりせずに、子どもの自分でしようとする気持ちを大切にしている	20.7	72.4	3.5	0	3.5
37	ひとりひとりの子どもをよく観察し、その場に適した言葉がけをしている	24.1	65.5	3.5	0	6.9
38	事故の予防に努めた保育を行なっている	41.4	58.6	0	0	0
39	障がいのある(と思われる)子どもの保育環境を整え、保育内容や方法に配慮している	13.8	62.1	3.5	0	20.7
40	保護者の不安や悩みに寄り添い、支援するよう心掛けている	17.2	51.7	10.3	0	20.7
41	子どもや保護者の個人情報やプライバシーに配慮している	51.7	44.8	0	0	3.5
42	虐待を疑われる子どもの情報を得たとき、関係機関に照会・通告する義務があることを知っている	100.0	0	0	0	0
43	苦情解決の仕組みを知っている	58.6	41.4	0	0	0
44	不審者が侵入したとき、自分はどのように対応するか分かっている	82.8	17.2	0	0	0
45	他者が読んでも分かりやすい文書作成・記録を心掛けている	17.2	62.1	0	0	20.7
46	他の保育士との信頼関係づくりに努めている	27.6	72.4	0	0	0
47	他の職種(保育補助、栄養士、事務等)との信頼関係づくりに努めている	27.6	72.4	0	0	0
48	保育に関わる知識や技術の向上に努めている	17.2	55.2	27.6	0	0
49	保育士としての人間性を豊かにするための自己研鑽に努めている	10.3	55.2	31.0	0	3.5
50	自分自身の体調維持・健康管理に努めている	38.0	55.2	6.9	0	0

『保育に関わる知識や技術の向上に努めている』、『保育士としての人間性を豊かにするための自己研鑽に努めている』の設問では、約 30%が『あまりできなかった』と回答した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日常生活や保育のあり方に大きな変更や制約が求められ、保育所の開所継続のための心身の負担があり、研修意欲向上とまではいかなかったものと推察される。また、オンラインを活用した研修等への参加が職場内にまだ浸透していないことも一因と考えられる。職員が意欲的に能力向上に努め、研修などを受講しやすい環境づくり、雰囲気づくりの醸成が必要と思われる。

『職員同士、正しくないと思ったことは注意しあう』の設問において、『よくできた』『できた』と回答したのは令和 1 年度では 51.5%、今年度では 69.0%であり、『できなかった』との回答も、令和 1 年度では 6.1%だったのに対し、今年度は0%であった。話し合いしやすい人間関係や職場風土に一定の改善があった一方、『あまりできなかった』との回答は昨年度同様 30%台であり、引き続きの課題となった。

子どもに対する丁寧な関わり方が『あまりできなかった』とした職員も一部あった。「コロナ禍で以前より(子どもに対して)制約を設けたり、禁止の言葉が多くなってしまった」などの意見もあり、感染症対策と保育の両立を目指す中での課題となった。また、職員自身の心身の不調が子どもへの関わり方に影響を与えることから、コロナ禍における職員のストレス低減やメンタルヘルスも重要な課題と考えられる。

虐待の通報義務に関する設問や不審者侵入時の対応に関する設問では、『よくできた』とする回答が高い割合を示した。

※保育補助職員は、保育に関する一部の設問には「回答無し」としています

令和2年度 保育所の自己評価 テーマ：『性にまつわる問題を考えてみる』

今年度は、おもに幼児クラスの中で異性への関心・距離感などの話題がクローズアップされました。また、社会的にも各分野にて性差別解消への取り組みに関心が集まっています。そこで今回の保育所の自己評価では、「性」や「性別」にまつわる問題を重点テーマとして設定し、議論を通して現状の保育のあり方を評価し、課題抽出や人権意識の向上につなげたいと考えました。

日 時：令和3年3月27日（土）14:00-15:00

場 所：本園2階（もりのへや）

参加者：18名（園長・副園長・主任・保育士・栄養士）

方 法：①3グループづくり、グループごとに発表者と初期を決める。

②個人ワーク

“この性別ならこうあるべき”といった固定概念に感じた違和感や抑圧感、あるいは自分が他者に押し付けてしまった体験などを書きだす。

③グループワーク

どのような意見がでたか、集約して整理。同じような項目・意見を集めカテゴリー化する。次に、そのことが「子どもへの関わり方」や「子どもの育ち」に与える影響（当園の子どもに対するものも含む）について考えて、意見を記入。グループごとに発表する。

④主任・園長から講評

【個人ワークでの意見】

職員が、自身の育ちの中で体験してきたことや感じてきたことなどとして、以下の意見（抜粋）がありました。

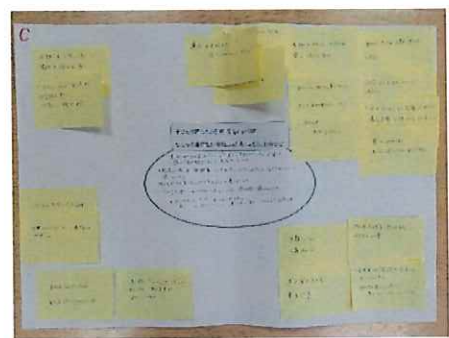
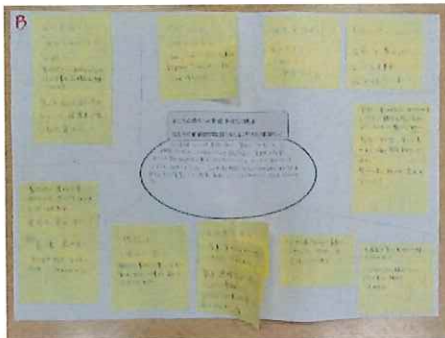
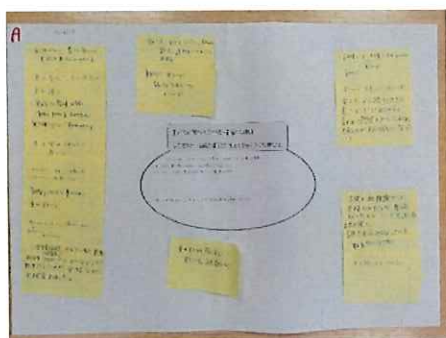
- ・色について、女の子は赤やピンク系、男の子は青などになりがち（それらを求められがち）。
- ・（過去に）制作物で、男の子は青、女の子はピンクというような分け方をしたことがある。
- ・（女の子が）髪を短くしたら、「男の子みたい」と言われた。
- ・髪形について、「男の子は長すぎると×、女の子は短すぎると×」という雰囲気があった。
- ・小学生のころ、短い髪、黒色の物（長靴、傘など）が好きだったので、「女の子なのに」とよく言われた。
- ・服装について、女の子らしくスカートを履く（ボーイッシュなものはNG）ように言われた。
- ・「結婚したら女の人は仕事を辞めるよね」と言われた。
- ・女だから家事をして当たり前という雰囲気がある。
- ・「女は家を守り、男は仕事をする」という雰囲気がある。
- ・小さいころ、「女の子は家事ができないといけない」と言われたことがある。
- ・親戚の集まりで、男の人が先に、女の人は後から食べるということがあった。
- ・「男の子は（強いから）泣かない」のような言葉を今現在も聞くことがある。
- ・子どもの幼稚園では、「女（男）の子なんだから～」と言っているのをよく聞く。子どもも言うようになっていく。
- ・（呼称について）「ちゃん」・「くん」の違いがある。
- ・制服で、“男はズボン、女はスカート”ということに、疑問を感じる人がいることに驚いた。（新しい観点だった。）
- ・男はカッコよさを、女はかわいさを求められるイメージがある。

【グループワークでの意見】

私たちのもつ様々な価値観が子どもに与える影響等について、以下のような意見（抜粋）がありました。

- すでに大人の中にできあがった価値観があり、子どもが好きな色を選んでも聞き返してしまったり、服装や髪形に違和感を感じてしまう事はある。その違和感を声に出してしまうと、子どもたちにも伝わってしまうと思うので、配慮が必要。
- （保育の中で、）男女で分けるのではなく、グループで分けるなどの工夫が必要。
- 保育の中では、男女を色で分ける（例えば、男子は青、女子は赤など）ことはしなくなったが、自分自身のこと（家族や自分の子どもなど）となると、どうしても固定概念がぬけない。
- 例えば新1年生の男の子が赤いランドセルを選んだとする。高学年になった時に、本人が恥ずかしい思いをしないかなど、本人の意思を尊重したい気持ちの一方で、先のことを危惧してしまう気持ちがあり、子どもの選択について、迷うことがある。

【グループワークの様子】



【まとめ】

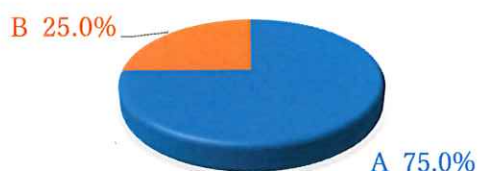
・現に当園の子どもたちに向き合う私たち職員も、その育成環境や生き立ちの中で「性」や「性別」に関する様々な価値観を身につけてきました。「男らしい人が好き」「女性らしい気配りができるようになりたい」といった、自分の中の“らしさ”の定義は、今すぐに変換できるものではないと思われます。また、そういった価値観をもつこと自体は否定されるものではないと考えられます。しかし、対人支援の現場である保育所において、子どもやそのご家族に職員自身の価値観や固定概念を押し付けてしまわないよう、気をつけていく必要があります。今回のワークでは、自身が感じてきたのと同様に、自分の言動が他者に対して意図せず抑圧感や否定感を与えてしまうことの問題性を考えるきっかけとなりました。様々な考え方や価値観をもつ子どもやご家族の集まる保育所においては、1つの考え方だけを拠り所にするには危険をともないます。どのようにしたらすべての子どもがのびのびと充実感をもって過ごせるのか、互いの違いを認め合う雰囲気醸成していけるのか、引き続き職員間で考え、実践に落とし込んでいけるよう取り組んでいきたいと思ひます。

レインボー保育園 令和2年度 保護者アンケート結果

当園の保育の質の向上ならびに円滑な運営のため、保護者のみなさまにアンケートのご協力をいただきました。集約の結果は下記の通りとなっております。いただいた貴重なご意見は、次年度以降の保育・運営に生かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

実施期間	アンケート方法（各項目について、評点を記入）				回収率
	十分できている	おおむねできている	改善を要する	わからない	
令和3年2月8日～19日	A	B	C	D	65.5%

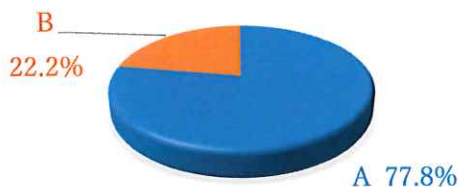
1 入園説明会等で保育園の園目標や方針が説明されていますか？



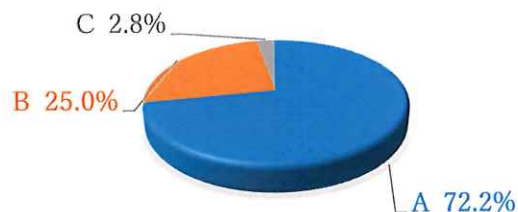
2 子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じますか？



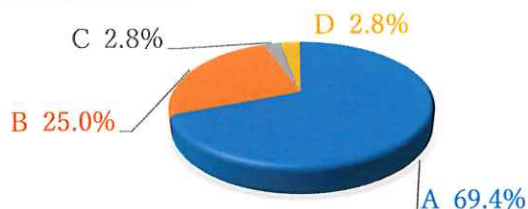
3 個人情報の扱いについて、入園説明会等で説明され、守られていますか？



4 子どもがのびのびと意見や意思を表現できるような保育が行われていますか？



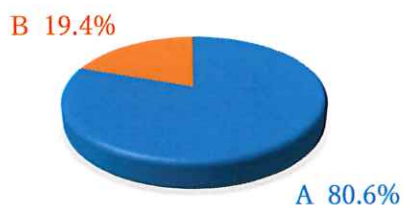
5 遊びを通して、友達や保育士との関わりが十分もてるよう配慮されていますか？



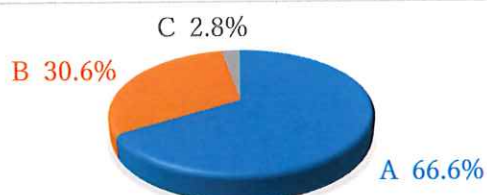
6 子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気・おもちゃ等が工夫されていますか？



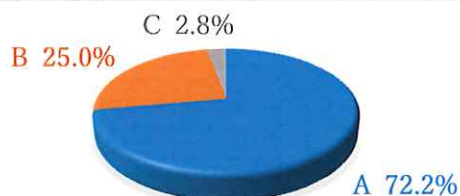
7 園の行事や保育の内容などが知らされていますか？



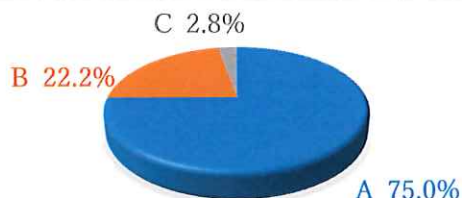
8 意見や要望などの対応ができていますか？



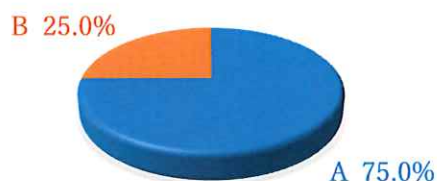
9 子育て相談など、話しやすい雰囲気がありますか？



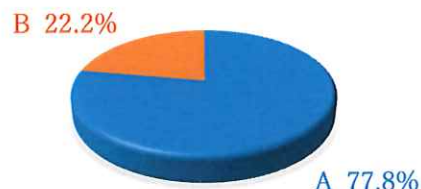
10 施設が安全で清潔な心地よい空間となっていますか？



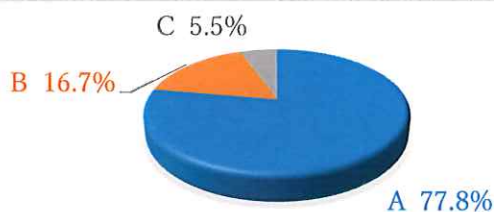
11 給食が楽しく食べられるよう工夫されていますか？



12 子どもの体調への気配りや怪我等に対して配慮がされていますか？



13 感染症の発生状況や注意事項など、健康に関して情報提供されていますか？



14 保育園に対する総合満足度は？



<その他>

- ・感染症等の情報提供の内容や方法に関すること
- ・保育士の振る舞いや子どもへのかかわり方に関すること
- ・防犯設備等に関すること
- ・施設内の環境衛生に関すること

その他として、おもに上記の事項に関するご意見やご要望をいただきました。

施設内において改善策等を検討していきたいと思います。

貴重なご意見、アンケートへのご協力、ありがとうございました。